

## 情報家電の現状 (2)

では、実際に情報家電としてどのようなものがこれまで作られてきているのでしょうか。実際に一部地方で発売になったものにインターネット冷蔵庫があります。インターネット冷蔵庫の発想は、冷蔵庫が紙をマグネットで貼り付けることによって伝言板の役目していることが多かったことと、台所などの家事現場で情報を入力する場合に適当に表示できるスペースがあったことにあります。初期のインターネット冷蔵庫は、直接冷蔵庫との接点はなく、インターネット検索のできる端末（パソコン？）の画面がドア部分についているだけです。使い方としては、台所で家事作業をする中でインターネットから情報を得たり、インターネットショッピングを行ったりでき、家族の間での伝言板やメールのやり取りに使うことができます。冷蔵庫は単なる情報提供場所の提供ですから、ほかの場所でもっと効率的に情報提供ができれば冷蔵庫である必要はなかったのかもしれませんが。

次に発売となっているのはインターネット電子レンジです。ただ電子レンジの場合は単独でインターネットに接続するのではなく、インターネットに接続できるパソコンと接続するインターフェースを備えています。この場合、インターネットに接続した端末で料理のデータを検索し、そのデータを電子レンジで取り込んで料理できるようになっています。その点では情報化された家電品ということができるともいえるかもしれません。

一方、家庭内の情報伝達方法ですが、いろいろなメーカ団体が標準化をしていたように思います。情報伝達路として新築の場合は会社と同じように各部屋に電源といっしょに電話線やLANなどを配線してしまう方法があり、配線しなくても電線管を使うことによってあとの配線に対応できる住宅建設が考えられました。そして、建設されている住宅については、電源線を情報伝達路に使うことが考えられ、だいぶ高速になり、家庭から出る部分でのフィルター（外の家にまで情報を送るわけにいきませんから）機器の開発も行われていました。しかし、やはり配線では自由度が少ないことから、小電力型のBluetoothという電波通信方式が今後いろいろな機器に搭載されることによって、シームレスに接続できるようになるのではないのでしょうか。

これまでの情報家電はどちらかといえばまだ過渡期であり、無理をしてインターネット機能を併せ持たせているような感じがします。インターネットに接続することによってどういう情報を家事の中のどのタイミングで利用することが最も効率的であるのか。接続するための通信料などの問題もありますが、インターネットを使うエリアという部分も検討する必要があるのかもしれませんが。インターネットに接続すれば全世界とつながることはできますが、県単位、市町村単位から町内会単位までエリアを絞った情報も重要になってきます。データを必要としている人に対して必要なデータを送る。これもインターネットです。LAN、WANと同じようにCAN（Community Area Network）という考え方もあります。インターネットだから世界というのではなく、インターネットの中でグループ、コミュニティを作り情報交換を行う、テレビのデジタル化で送られてくる大量の情報を必要に応じて利用、活用する、楽しむ。家庭の情報化はこれからで、いろいろな楽しみ方、応用の仕方が広がってくるものと考えられます。情報家電はこれからの情報化の中で重要な位置をしめていくのではないのでしょうか。（次回へ続く）

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 6月5日号

特集 USB 2.0 誕生

→次世代のインターフェースUSB 2.0がそのベールを脱いだ。データ転送速度480Mbps、活線状態で抜き差しのできるプラグアンドプレイ機能など、仕様が固まり、次のWindows 2000にドライバが搭載され、製品開発、出荷がはじまる。

解説 PSエミュレータでゲーム業界に衝撃

→アメリカのゲーム関連の展示会で、ドリームキャストでPSのソフトが動くエミュレータが発表された。ゲーム業界はネットワークビジネスに傾倒はじめた。

○日経パソコン 6月12日号

特集 楽々データ入力術

→パソコンを使う上で必要なのがキーボードを使つてのデータ入力。ただ、タイプライターのように入力する以外に知っていれば楽になるWindowsのショートカットキーやExcelに隠されている入力支援機能などがある。

特集 はじめてのインターネット証券取引

→インターネットで盛んな証券取引。iモードを含めてどうやればいいのか段階を踏んで紹介。

○日経オープンシステム 6月号

特集 iモード、PDA…業務にどう生かす?

→画面が狭い、入力しにくい、記憶容量が小さいなど携帯電話やPDA製品で業務システムを構築することは魅力がないように思えるが携帯電話やPDAにしかない強みがある。使い方によっては便利なもので、成果を上げているユーザもある。

注目 インターネット常時接続サービス

→ADSLや無線などインターネット常時接続の新サービスが登場し、多様化しつつある。これまでの専用線に比べて半額以下になるがこれらの安価なサービスはベストエフォート型と型とって、回線を複数のユーザが共有するため同時に利用した場合スループットが低下する。

○日経ネットビジネス 7月号

特集 危機と戦う!

→インターネットを利用する場合いろいろな危機に直面する。ECサイトやマーケティングサイトがダウンしたり、顧客情報が漏洩したりなどいろいろあるが些細なミスが多い。しかし些細なミスでもインターネットではユーザがたちまちかぎつけ、電子掲示板などで風評が広がり大騒動に発展することもある。その動向と事例集。

特集 「出世払い」でe-企業を育てる

→ネットベンチャーの将来性を見込んで資金を出世払いで提供するビジネスモデルが登場してきた。IT支援型やベンチャー互助会型、ECノウハウ提供型があるが、大企業も進出している。

○DOS/V magazine 7月1日号

特集 Windows Meの正体

→Windows 98の次版であるWindows Me。最後の16ビット系WindowsといわれるOSの魅力はどこにあるのか。現在のOSから乗り換えればよいのか、来年にWin 2000ベースで出荷される次期Win 2000の出荷を待てばよいのか。

特集 予算10万円！攻めのPC増強化計画

→10万円で何が増設できるか。CPU増強、DVD対応、DVリニア編集対応など個性的な増強方法。

特集 デジカメで「光」の達人になる

→簡単に使えるデジカメ。写真としてのとり方指南。オートばかりでとっ  
ていてはわからないとり方。光をどのように使うか。